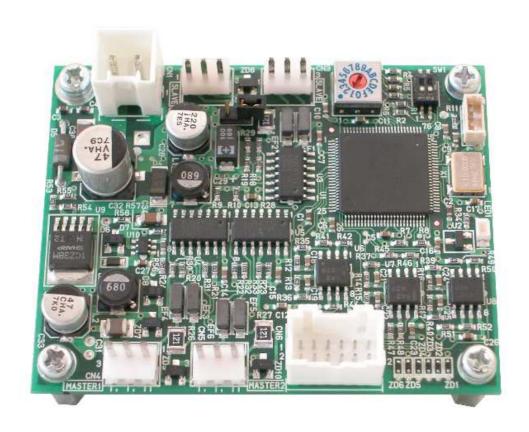


《RS485 ライン切り替えボード》 ☆300 軸までのモータ制御が可能 ☆LHDDER 言語(LHDDER *Motion*)使用 ☆6 CH の Analog 出力搭載

Branch485

《RS485ラインコントローラ》

"**Branch485**"は、RS485 通信ラインに接続されるモータドライバ又は各種機器を 300 軸まで可能にさせるための RS485 の通信ラインコントローラです。



【第1.0版】

2008年 7月25日

株式会社 ダイナックス

〒183-0055 東京都府中市府中町 1-12-7センタービル TEL:042-360-1621 〒558-0041 大阪府大阪市住吉区南住吉 1-19-1 TEL:06-6606-4860



1-12-7-1001 FUCHU-CHO, FUCHU-SHI, TOKYO JAPAN FAX:042-360-1837 1-19-1 MINAMISUMIYOSHI, SUMIYOSHI-KU, OSAKA JAPAN FAX:06-6606-5160

【スイッチ】

SW1: CPU 動作モード

ビット		起動モード	
1	2	ことも	
0 (0N)	_	SH2 ブートモード	
1 (OEE)	0 (0N)	デバッガモード	
1 (0FF)	1 (0FF)	アプリケーションモード(通常)	

SW2 (ロータリ): 局番設定

[LED]

LED1:(緑)電源パイロット

【コネクタ】

C N 1: 24V 主電源(B2P-VH-FB-B: JST)

1	24V	2	GND

C N 2, 3 [485] : Slave (B3P-SHF-1AA: JST)

1	485+		
2	485-		
3	GND		

SLAVE は上位コントローラに接続される通信ポートで、複数個の Branch485 が使用される場合、分岐用に 1 個を使用することが出来ます。最終の Branch485 は、終端抵抗を接続する必要が有ります。

JP1: \$lave 4 8 5 終端抵抗接続

オープン	非接続
ショート	接続

C N 4 [RS485]: Master1 (B3P-SHF-1AA: JST)

1	485+		
2	485-		
3	GND		

最初の30軸用のRS485マスターポートです。

C N 5 [RS485]: Master2 (B3P-SHF-1AA: JST)

1	485+
2	485-
3	GND

後半の30軸用のRS485マスターポートです。

C N 6 : Analog Out (B12B-PADSS-1:JST)

•					
	1	A0-1	2	GND	
	3	A0-2	4	GND	
	5	A0-3	6	GND	
	7	A0-4	8	GND	
	9	A0-5	10	GND	
	11	A0-6	12	GND	

PWM 式アナログ出力 (0~10V)

J 1:デバッグ TTL-232 (B4B-EH: JST)

1	+5V
2	RXD
3	TXD
4	GND

【外形図】

